

長浜米原地域医療支援センター 事業報告 2019

専門員 今井 享子 池野 さち子



【介護保険制度の地域支援事業】市区町村を実施主体として平成30年から全市町村で完全実施

在宅医療・介護連携推進事業の8事業

◆具体的な8つの取り組み内容 前年度同様、長浜市・米原市から（イ）（ク）以外を受託

ア

- 地域の医療・介護資源の把握

イ

- 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討→→行政

ウ

- 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進（医師会と共催）

エ

- 医療介護関係者の情報共有の支援

オ

- 在宅医療・介護連携に関する相談支援

カ

- 医療・介護関係者の研修

キ

- 地域住民への普及啓発

ク

- 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携→→行政

(ア) 地域の医療・介護資源の把握

在宅医療・介護の資源情報

湖北地域にお住いの皆さまが、医療や介護が必要な状況になっても、出来る限り住み慣れた地域で安心して生活を送り、人生の最期を迎える事ができることを目的に、在宅医療介護に携わる、医療・介護の情報をまとめています。

※この掲載情報は当支援センター独自の調査や県、市の情報などを基に作成しているものです。

情報更新は、随時行っていますが、最新の情報とは異なる場合がありますので、ご了承ください。

また、掲載情報については十分注意しておりますが、間違いや更新情報等がございましたら、随時訂正、

更新しますので長浜米原地域医療支援センターまでご連絡ください。

長浜市、米原市では、各事業所の所在地が検索できる「地図サービス」を提供されています。下記のリンクよりご利用ください。

●在宅医療資源

療機関・サービスの種類	サービスの概要
<u>往診または訪問診療実施の診療所</u>	「往診」…急に状態が悪化した時に緊急で医師がかけつけ、その都度診療を行います。 「訪問診療」…通院が困難な方や退院後の医療が必要な方に、定期的に継続して訪問し、計画的な医療を提供します。
<u>訪問診療が可能な歯科診療所</u>	歯科医院に通院困難な方に、自宅や施設に訪問し、歯科治療や口腔ケアを行います。
<u>在宅訪問対応の保険薬局</u>	服薬管理が困難な方や、点滴などの医療が必要な方に、医師や歯科医師の指示のもと、薬剤師が自宅に訪問し服薬支援を行います。
<u>訪問看護ステーション</u>	医師の指示のもと、看護師等の専門職が自宅に伺い、療養上の世話やリハビリテーション、診療の補助を行います。
<u>認知症疾患医療センター</u>	ご本人、家族、関係機関からの認知症に関する相談に対応するとともに、状況に応じて必要な支援を行います。専門の職員（精神保健福祉士、臨床心理士等）の医療・福祉・介護・心理にかかわる相談を無料で受けることができます。
<u>認知症サポート医 一覧</u> （滋賀県のホームページへ）	

○診療所と訪問看護ステーション機能について、4月に見直し調査（1回／2年）を実施。

同意された診療所・ステーションについて、5月にホームページの医療資源情報を更新

地域別に事業所一覧を作成しています。各事業所のサービス内容や特色などについては、厚生労働省 介護事業所・生活関連情報検索サイトより閲覧できますのでご利用ください。
(公表されている事業所の検索はこちら)

サービスの種類など	サービスの概要	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	入浴、排せつなどの日常生活介護や療養上の世話が受けられます。
地域包括支援センター	高齢者の在宅介護などに関する総合相談窓口です。電話や窓口相談	福祉用具貸与・特定福祉用具販売	「福祉用具貸与」…自宅等で、車椅子や介護用ベットなどの福祉用具 を貸与できます。（介護度によって貸与できないものもあります） 「特定福祉用具販売」…福祉用具のうち貸与になじまないもの（入浴や排せつ等に使うものなど）の福祉用具を購入できます。利用者負担に応じて年間10万円まで支給します。
居宅介護支援（ケアマネージャー）	利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができる。員）が利用者の心身の状況や生活環境に応じた介護保険サービス?事業者や関係機関との連絡・調整を行います。	【地域密着型】通所介護（小規模デイサービス）	利用定員18人以下の小規模なデイサービスセンターなどに通い、食事や入浴、排せつなどの必要な日常生活上の支援や生活機能訓練などを日帰りで受けられます。
訪問介護（ホームヘルプ）	自宅等へ、ホームヘルパー等が訪問し、食事や入浴、排せつの介	【地域密着型】認知症対応型通所介護	認知症の状態にある人が、食事、入浴などの介護や支援、機能訓練を日帰りで受けられます。
訪問入浴介護	入浴が困難な寝たきりの人などの自宅に訪問入浴車などで訪問し、	【地域密着型】共用型認知症対応型通所介護	グループホームの共用スペースを利用した、認知症の方を対象としたデイサービス。
通所介護（デイサービス）	日中、デイサービスセンターなどに通い、入浴、食事、日常動作訓	【地域密着型】療養通所介護	常時看護師による観察が必要な難病等の重度要介護者、医療依存度の高い方やがん末期患者を対象とし、デイサービスセンターなどに通い入浴、排せつ、食事等の介護や支援、機能訓練を日帰りで受けられます。
通所リハビリテーション（デイケアサービス）	介護老人保健施設等で、理学療法士等による、できる限り自立したリョンが受けられます。	【地域密着型】短期入所生活介護	地域密着型特別養護老人ホーム等に、短期入所して介護や日常生活の介助などが受けられます。
短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）	「短期入所生活介護」…特別養護老人ホーム等に、短期入所して介受けられます。 「短期入所療養介護」…老人保健施設や医療施設等に、短期入所して機能訓練などが受けられます。	【地域密着型】小規模多機能型居宅介護	住み慣れた家・地域での生活を継続することができるように、利用者の状態や必要に応じて、ひとつの事業所で「通い」を中心に「泊まり」「訪問」のサービスを組み合わせ提供する在宅介護サービスです。ケアマネージャーも利用する事業所のケアマネージャーとなります。
		【地域密着型】看護小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護の機能に加え、看護師などによる「訪問看護」も組み合わせることで、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることができます。
		【地域密着型】認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	認知症（急性を除く）の人に対し、家庭に近い環境で共同生活を 送る事を可能にする共同生活住居。
		【地域密着型】介護老人福祉施設入所生活介護	入所定員29名以下の小規模な介護老人福祉施設に入所して、食事や入浴、排せつなど日常生活介護や療養上の世話が受けられます。

○介護事業所一覧について、長浜保健所や両市から随時、新規・中止・変更の情報提供があり更新作業を実施

ホームページへのアクセス数

年度／月	2017年度	2018年度	2019年度
4月		1 8 6	2 5 6
5月		2 2 5	2 3 6
6月		2 3 7	2 8 4
7月		1 6 9	3 0 4
8月	1 9 8	3 5 4	2 3 2
9月	1 6 6	2 1 2	2 3 8
10月	4 2 9	2 6 8	2 9 9
11月	3 4 6	2 2 3	2 3 1
12月	3 0 7	2 0 6	2 5 7
1月	2 2 3	2 0 8	2 5 3
2月	1 9 7	2 1 4	3 0 9
3月	2 5 4	2 2 4	2 4 0
合計	2 1 2 0	2 7 2 6	3 1 3 9



ホームページへの閲覧啓発

- HPへのアクセス目的でフェイスブックを立ち上げるが投稿数とアクセス数が比例している
- 医療介護関係者のページにケアマネジャーの定例会議資料を添付することで、利活用に繋がるのではないかな？
- 研修カレンダーの掲載（10件／月前後、研修案内）
- びわ湖あさがおネットのHPにリンク
- 湖北医師会以外の構成団体（湖北歯科医師会・湖北薬剤師会・訪問看護ステーション）のページを新規開設し情報交流や啓発のツールとして活用を図る

(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

1、湖北医師会の老人保健部と共催で、定例の在宅医療診療所連携推進検討会議を継続

＜目的＞ 人生の最終段階において希望される場所で看取りを実現

＜目標＞ 在宅医師間の連携システム構築

＜方針＞ システムと湖北ルール化 ＜戦略＞ ルールは最小限で「まずはやってみよう」のスタンスで

日時	項目	参加者	協議内容	結果と方向性
6月27日（木）18:30～ 20:00	（第4回） 診療所連携会議 （コアチーム）	在宅医師4人 事務局3人	診療所機能の再調査結果では、在宅医療を担う診療所数（訪問診療や往診可能）や詳細についても縮小傾向にある事から「連携の具体化」について協議	単独医師はどんなシーンで困っているか聞き取り調査。お互いの交流がなくリアルな情報交換の場が必要
12月5日（木）	在宅医師との 交流会	在宅医師11人 事務局3人	飲みニケーションも兼ねて意見交換会を開催。ざっくりばらんな情報交換のため親密度が増し、医師同士の障壁も確認できた	旧浅井町をモデル地域に指定 看取り期の事例共有
3月26日（木） 18:00～	（第5回） 診療所連携会議 （コアチーム）に浅井 地域の在宅医師も参加	在宅医師 人 事務局3人	モデル運用について協議	中止

2、湖北圏域介護サービス事業者協議会（1回／2か月）オブザーバーとして出席（平成29年度～）介護部会と情報共有

3、湖北圏域難病対策地域協議会（1回／年）に委員として出席

4、自治体病院主催の「円滑な退院支援のためのワークショップ」にファシリテーターとして参加

(工) 医療介護関係者の情報共有の支援

滋賀県医療介護情報連携ネットワーク湖北圏域協議会
と共催でびわ湖あさがおネット利用操作研修会
(兼IDパス取得説明会) を開催

令和元年7月30日 (火)
場所 長浜赤十字病院2号館会議室
参加者 19人+スタッフ6人



1月現在：登録ユーザー数は1074人もICTを活用した多職種間の情報連携の実態は可視化できない
ICT以外の通信手段があり一本化は難しい現状➡伝える側の工夫と受け取る側への意識啓発

上記のネットワーク協議会に新規構成委員として参加 (2月6日)
びわ湖あさがおネットの利活用促進には「仕掛け作り」が必要 (半強制力)



(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援（専門職）

相談者の内訳	件数
ケアマネジャー	7
看護師	1
訪問看護師	2
開業医	1
家族	2
地域包括支援センター	1
他圏域	3
合計	17

- ・ 相談件数の増加（昨年11件）
- ・ HP閲覧に関する問い合わせ
- ・ 支援センターの資料の貸出
- ・ 専門職の連携に関する困り事
- ・ 医療資源について
- ・ 看取りに関する考え方

◎ 医療機器の貸出について相談

住民相談の住み分け
医療相談？

- 長浜市5包括と懇談会
→ 11月19日（火）
活動内容や介護と医療の連携に関する情報共有と協力関係の話し合い
- ➡ ケアマネ研修の相談支援
- ➡ 5包括の主任ケアマネ会議に参加
- 米原市→今後検討

各団体から情報収集

素案について意見収集

PCAポンプの
レンタル運用作成

湖北緩和ケア・在宅医療研究会に情報提供

湖北ルールとして周知

今後の課題無菌⇒無菌ベンチ対応薬局の拡大
➡ 湖北薬剤師会では無菌ベンチを当会設置に向け検討中

PCA ポンプレンタルの運用

PCA とは患者自己調整鎮痛法の事で、手術後や癌の痛みに対して患者自らが鎮痛剤を投与する方法。
このため①鎮痛剤を自分で即座に投与できる ②経口投与よりも迅速な疼痛コントロールができる ③頻発する痛みでも細かく薬を調整できるメリットがある。認知機能低下や混乱症状がある場合は痛み以外の理由でボタンを押すことで過剰投与のリスクがあるため適しない。

●PCA のレンタル業者（三笑堂でレンタル契約の場合）

京滋エリアのレンタル業者は三笑堂のみで京都が本店で滋賀県は栗東に支店がある（TEL：077-553-6888）

PCA ポンプは京都で保管しているため、調達には時間的なタイムラグが発生（最短 1 時間から 3～4 日）

※据え置き代替機として PCA ポンプ 1 台を無償で貸出➡ 設置場所：市立長浜病院の救急センター

設置運用は病院で決定し院内周知を行う（引き換えカードの運用や PCA ポンプ使用者の明記など）

・スミスメディカルのレンタル費用 1 台 12,000 円／月（＋税）レンタル限度期間 1 年間

・メディケーションカセット ○50ml 3,000 円／個 ○100ml 3,500 円／個 ○250m 4,000 円／個

・エクステンチューブセット 114 cmタイプ 560 円 この衛生材料は指導管理料に含まれる

この衛生材料は一個払い出しの為、返品は可能

・市立長浜病院・湖北病院の担当者 南 氏（携帯 080-6184-2538 ）

・長浜赤十字病院の担当者 澤田氏（携帯 080-5632-8907）



* PCA ポンプ故障時の交換（気泡や閉塞圧などの操作上・バッテリー消耗やカセットが空の場合以外で）

【手順】PCA ポンプの代替機が必要と判断

在宅医又は訪問看護師は三笑堂担当者の携帯に連絡➡連絡がつかない場合は留守電に入れる➡業者対応が困難な場合、在宅医又は訪問看護師は市立長浜病院の救急に一報を入れ、引き換えカードを渡し代替機PCAポンプを受け取る（※業者は、平日の日中以外は、対応ができない場合がある・代替機使用の場合は、後日補充）

●診療報酬算定

在宅悪性腫瘍患者指導管理料（※） 1500 点／月

注入ポンプ加算 1250 点／月

計 2750 点／月

在宅悪性腫瘍患者共同指導管理料 1500 点

（※）を受けている患者に対して当該地の医療機関と連携し同 1 日に鎮痛療法又は化学療法に関する指導管理を行った場合に算定できる

●保険薬局との連携

湖北エリア内での無菌ベンチ使用はスギ薬局長浜インター店が対応している（TEL 68-1045）

火曜日と金曜日の夜に薬剤のミキシング、水曜日と土曜日に払い出し可能（開店時間 10:00～22:00）

麻薬の充填保証期間は 1 週間 使用頻度は 1～2 件／年

●訪問看護師との連携

訪問前に麻薬充填カセットをインター店に貰いに行き、訪問後に空カセットをインター店に届ける

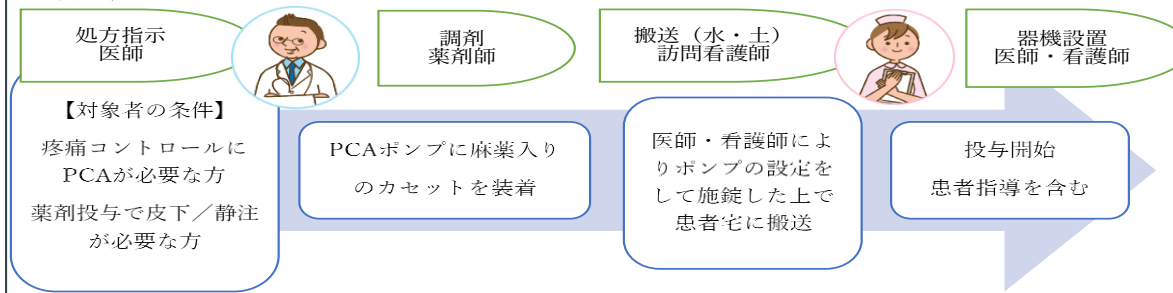
薬液交換専用キーは、基本訪問看護事業所の鍵ができる場所に保管する（訪問看護 ST 連絡協議会第 6 地区支部）

●ご家族

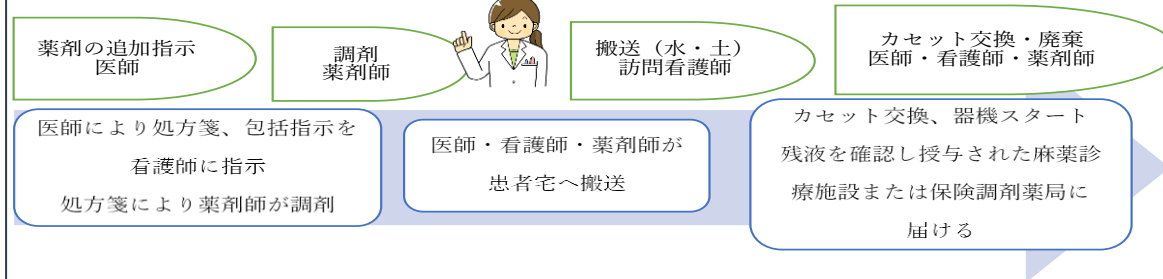
診療所で発行された処方箋と共に未使用の PCA カセットを保険薬局に届ける

湖北緩和ケア・在宅医療研究会と協働し
PCAポンプのレンタル運用を作成

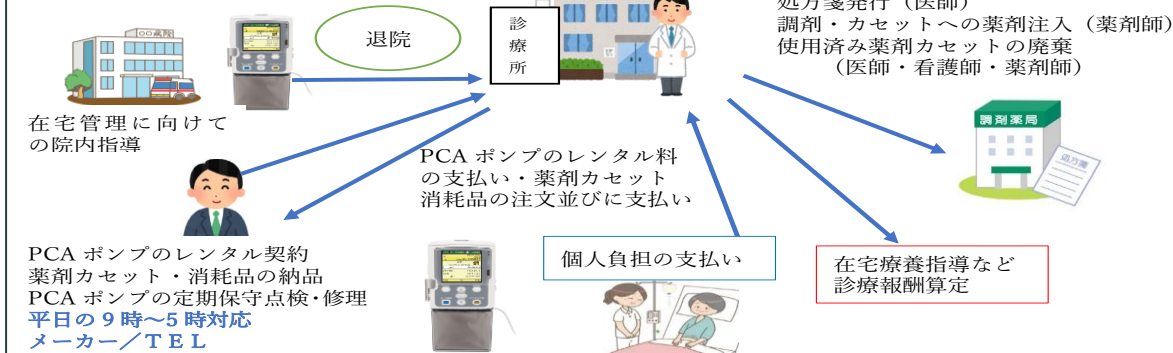
●運用の流れ



【2 回目の方】



●PCA ポンプレンタルの流れ



- ①業者は、退院 2～3 日前に PCA ポンプと交換用の未使用カセット・チューブ各 2 個を病院に持参する
- ②病院は、レンタル PCA ポンプの交換と同時に薬液量を次の交換日に合わせて調節する
- ③診療所は、退院日からレンタル契約開始する

●死亡後の対応

死亡後、訪問看護師は PCA ポンプを除去し、残薬入りカセットをスギ薬局インター店に持参
PCA ポンプは診療所に返却する
診療所は返却の旨を業者に連絡し、業者は PCA ポンプを診療所から回収する（レンタル契約は 1 か月単位）

●購入の場合

定価では 50～60 万円（1 年間保証）メンテナンスに 3 万程度（バッテリー交換）の費用発生／1 台

（文責）長浜米原地域医療支援センター 令和 2 年 1 月作成

びわ湖あさがおネットのメール機能で
関係者に PCA ポンプのレンタル運用を
配信し同時にホームページに掲載した

(力) 医療・介護関係者の研修（対象：多職種）

日時	研修名／会場	内容	講師	参加数
8月20日 (火) 17:00～ 18:45	人生の最終段階の医療と介護の 意思決定支援 ・講義：大切な人の看取り ・もしバナゲームを体験しよう ～同内容を2会場で開催～ ・長浜市湖北病院 ・長浜市民交流センター	大切な人の看取りと題して●生きること、死ぬこと●緩和ケア●看取りの現状●自分の大切な人の生と死を考える●意思決定を内容に30分間の講義を受けた。最後に、死はすべての人に平等に訪れるという前提で意思決定は治療法の選択だけではなく人生の終焉をいかに締めくくるといふ決定も含まれ、救急現場では突然に延命処置について家族の意思決定を迫られるという視点から、もしバナゲームの演習に繋いで頂いた。 もしバナゲームでは住民対象と違い、専門職の集まりの中でスムーズに話し合いが展開できた。専門職にとっても、自身の最終段階を考えることは想定外だったので、大切な事を考える機会になり、大変有効だったと考える。（詳細はHP参照）	窪田好恵先生 京都看護大学	41人
8月30日 (金) 17:00～ 18:45				25人
10月24日 (木) 18:00～ 19:30	口を見て感じておこなう口腔ケア ～基本のケアを体験しよう～ ・講義と演習で最新の考え方を学ぼう ・メディサポ2階A会議室	口腔ケアの演習を中心に明日から実践できるスキルを学ぶ 2人ペアで実施する際、ケアを受ける側の気持ちが出来たこと、デリケートな部分だけに対象者の尊厳に配慮しケアする事の大切さを学んで頂いた。口腔ケアは実習体験が重要であるが、参加者が少ないのが残念だった。	石黒幸枝先生 米原市地域包括医療福祉 センター「ふくしあ」 浅井東診療所	14人
3月13日 (金) 18:00～ 19:30	おひとりさまの最期 ～専門職へのメッセージ～ (長浜市民交流センター)	講演と質疑 自宅看取りに対して、専門職が抵抗勢力になっていないか？	上野千鶴子先生 東京大学名誉教授 社会学者	
3月26日 (木)	医療と介護の連携について 事例報告と医師への協力依頼	医師会の定例会議後に開催し在宅医師の参加を促す 両市から連携の好事例を発表	長浜市 米原市	

延期

- ・参加事業所に格差、事業所トップの考え方
- ・自己研鑽に留まらず、組織力として研修参加！
(伝達講習の義務付けなど)

(キ) 地域住民への普及啓発

(1) 住民対象：出前講座

- ・ 住み慣れた地域で最期まで自分らしく暮らすために
- ・ もしバナゲームをしませんか

(2) 施設利用者・スタッフ対象：出前講座

- ・ エンディングノートを書こう（利用者・スタッフ）

(3) 地域医療福祉フォーラム

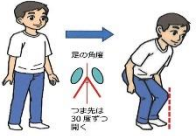
- ・ 住み慣れた地域で自分らしく暮らすために ～わたしにできる最初の一步～

(4) センセイになろう（さざなみタウンのオープニングイベントに参加）

- ・ エンディングノートを書こう（12/7 11:10～12:00）

長浜市健康企画課から
ロコモティブシンドローム予防の
ため下記の体操を実施して欲しい
と依頼を受け、出前講座の途中に
気分転換目的で実行した

ロコモティブシンドロームを予防して、元気な足腰を保とう！
ロコモティブシンドロームとは、骨・関節・筋肉等にしょうがいが起こり、「立つ」「歩く」といった動作に困る状態で、要介護状態の原因になります。毎日2種類の体操を行い、元気な身体を維持しましょう。

片脚立ち	スクワット	スクワットが難しい場合は 足上げ
		
転倒しないよう、つかまるものがある場所で行います。 【左右1分間ずつ、1日3回】	肩幅より少し広めに足を広げて立ちます。膝がつま先より前に出ないように、また膝が足先と同じ方向にして、体をしずめます。 【ゆっくり5回繰り返す。1日3回】	片方の足を伸ばし、伸ばした足の足首は、手前に引くように立て、5秒間止め元に戻します。 【交互に5回ずつ、1日3回】

※この体操は0次健診ロコモ判定で得られた長浜市民のデータや日本整形外科学会公式ホームページを参考にお勧めしている体操です。

もっと他の体操も行いたい方は、長浜市転倒予防体操「ながはまきやんせ体操」をご覧ください。

発行元：長浜市健康企画課

出前講座集計

項目	回数	参加数	備考
住み慣れた地域で最期まで自分らしく暮らすために	4	101人	講義形式の講座
もしバナゲームをしませんか	5	89人	参加型講座のために自分事として考える機会になりやすい
施設利用者・スタッフ対象 エンディングノートを書こう もしバナゲーム	4	158人	時間制限もあり、エンディングノートに特化した内容を希望
センセイになろう（12/7） エンディングノートを書こう	1	16人	～さざなみタウンオープン～ 長浜コミュニティカレッジ 学びでつながるウィンターフェス
合 計	14	364人	コロナ感染拡大にて3月の出前講座5件すべて延期

出前講座の内訳

	開催日	開催場所	対象者	参加人数
講義形式	9月14日（土）	新庄中町	サロン	3 2
	10月25日（金）	長浜市役所	介護相談員	1 9
	11月25日（月）	大辰巳町	老人会	1 6
	2月14日（金）	さざなみタウン	シルバー人材センター	3 4
もしバナゲーム	4月9日（火）	列見町	サロン	1 5
	4月12日（金）	大浜町	サロン	2 2
	6月21日（金）	小谷上山田町	サロン	1 8
	6月21日（金）	相撲町	サロン	1 1
	7月12日（金）	小谷郡上町	サロン	2 3
施設対象	8月29日（木）	長浜メディケア	利用者・職員	4 2
	9月6日（金）	長浜メディケア	利用者・職員	2 7
	11月12日（火）	長浜荘	利用者・職員	5 5
	11月26日（火）	長浜荘	利用者・職員	3 4
他	12月7日（土）	さざなみタウン	センセイになろう（イベント）	1 6
合計	14回			3 6 4 人

参加無料

第10回 地域医療福祉フォーラム2019

令和元年12月8日(日) 13:00～16:00 (12:30 受付)

会場:米原市近江公民館 米原市瀬戸 1513 TEL 52-3483

住み慣れた地域で最期まで自分らしく暮らすために
～わたしにできる、最初の一步～

医療や介護が必要になっても希望する場所で暮らし続けられるために、医療現場での様子や地域で支援できることを知って、「わたしにできること」を見つけませんか？



講師の中村先生



大野木長寿村まちづくり会



岡田健太郎さん

オープニング
開会の挨拶
13:00～

岡田健太郎さんのミニコンサート
米原市長のあいさつ

第1部講演
13:30～

大野木長寿村まちづくり会の取り組みから
大野木長寿村まちづくり会

第2部講演
14:50～

どの世代も住み慣れた地域で暮らしていただくために
～米原市地域包括福祉センター「ふくしあ」での取り組み～
センター長 中村泰之 先生

申し込み
お問い合わせ先

長浜米原地域医療支援センターまでお申し込みください
長浜市宮司町 1181-2 TEL/FAX 0749-65-2755

主催:長浜米原地域医療支援センター

共催:米原市・長浜市・長浜保健所

長浜米原地域医療センターは、湖北医師会・湖北歯科医師会・湖北薬剤師会・滋賀県訪問看護ステーション連絡協議会第6地区支部の4団体で構成しています

今年度は米原市を舞台に、在宅医療や地域住民の活動を話題提供

「住み慣れた地域で最期まで自分らしく暮らすために」を実現する為に
「私にできる最初の一步」を考えよう！

参加者 128人

講演内容やアンケート結果は下記のHPに掲載しています

<http://www.chiikiiryou.com/fukyuu.html>

来年度は、健康教室400回記念と共催で
7月11日(土) 13時～開催

スローガンは社会参加

基調講演:藤原 佳典 先生
健康長寿医療センター

啓発グッズ作製

人生の最終段階の医療や介護を考える

出前講座のご案内

講座にかかる費用は無料

長浜米原地域医療支援センターでは「住み慣れた地域で最期まで自分らしく暮らすために」をテーマに、2種類の出前講座を開催しています。いずれも、これからの人生をどのように「生きて／逝くか」を考えて頂く機会になりますので、ご希望の方は下記までご連絡ください。

講座名(どちらかを選択)	内容(60分程度)
住み慣れた地域で、 最期まで自分らしく暮らすために	ご自身の人生を振り返り、残された人生をどのように生き、大切な人に何を伝えるか？配布のエンディングノートを活用し考えます。
「もしバナゲーム」を しませんか？	「もしもの時」の医療や介護、ご自身が大切に思うこと等をカードを使って考え、話し合う中でご自身の気持ちを整理します。人生会議の前段階としても有効です。

対 象 長浜市・米原市にお住まいの方(5人以上のグループでお願いします)

日 時 平日の10時～16時(要相談)

場 所 最寄りの会館等に出張します

準 備 講座にかかる備品は持参します

当センターで作成した資料・パソコン・プロジェクター・マイク・スクリーン等

申 込 まずは、お電話をください。

開催日の調整や参加人数を確認します

申込書は、当センターのホームページに掲載しています。

長浜米原地域医療支援センター

検索



連絡先 長浜市宮司町1181-2(湖北医師会事務局内)

長浜米原地域医療支援センター 担当:今井享子・池野さち子

TEL/FAX 0749-65-2755

長浜米原地域医療支援センターは、湖北医師会、湖北歯科医師会、湖北薬剤師会
訪問看護ステーション連絡協議会で構成する団体です。

今日があなたの人生最期の日だったら

大切な人に何を伝えますか？

後悔のない最期を迎えるために

今からできることを始めましょう



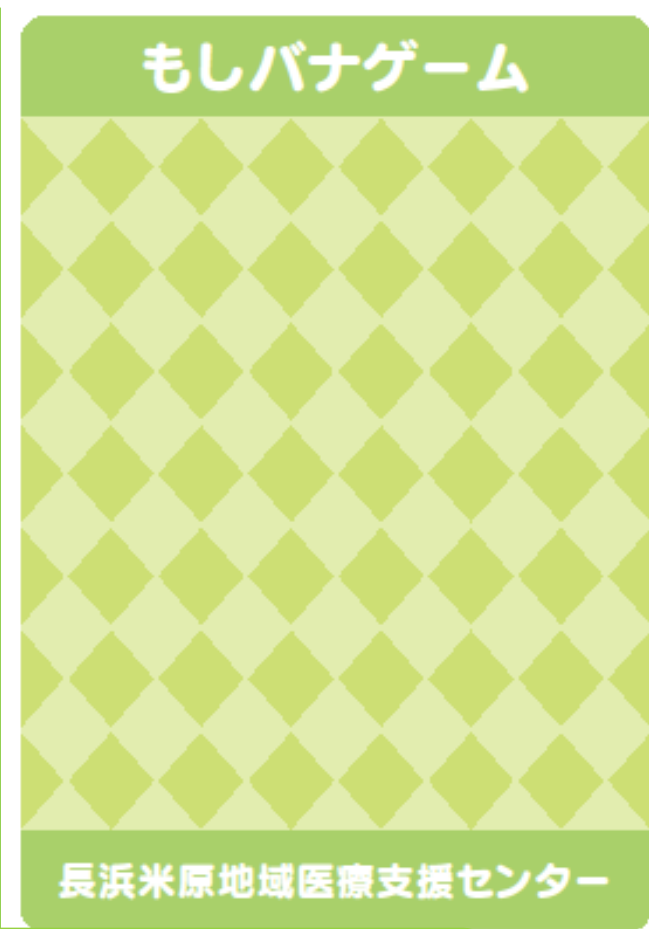
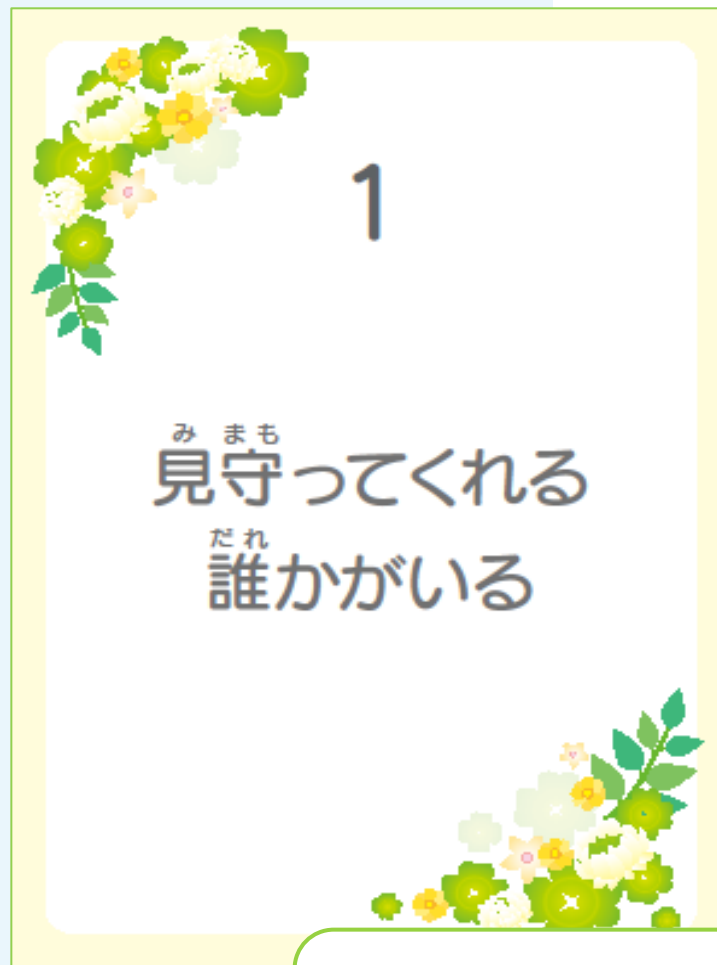
啓発ファイル

長浜米原地域医療支援センター

〒526-0831 長浜市宮司町1181-2 TEL/FAX 0749-65-2755

【もしバナ文言】

- 1 見守ってくれる誰かがいる
- 2 お金の問題が整理できている
- 3 最期は自宅で
- 4 最期は施設で
- 5 最期は病院で
- 6 看取り期の状態がイメージできている
- 7 大切な人とお別れができている
- 8 死を覚悟できている
- 9 家族は私の死を覚悟できている
- 10 身辺整理ができている（物）
- 11 希望や伝えたいことが大切な人と話できている
- 12 自分の希望や意思が大切な人に伝わっている
- 13 希望する治療やケアを医療・介護スタッフに伝えられている
- 14 ありのままの私が尊重されている
- 15 傍にいてくれる誰かがいる
- 16 人生の最終段階を過ごせる誰かがいる
- 17 私の想いを聴いてくれる誰かがいる
- 18 信頼できる主治医がいる
- 19 生死の考えを持っている（死生観）
- 20 希望する葬儀が準備できている
- 21 口から食べられなくなった時、人工栄養（胃ろう・点滴）を希望する
- 22 口から食べられなくなった時、最終段階と覚悟し自然に任せる（自然死）
- 23 回復が見込めない段階での救急車通報について家族や医療・ケアチームと話し合っている
- 24 心の拠り所がある



現行の「もしバナカード24枚」
を見直し、新規作製

人生会議をしましょう

自らが希望する人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ってみませんか

人は皆、いつでも命に関わるような大きな病気やケガをして命に危険が差し迫った状態になる可能性があります。命に危険が迫った状態になると、約70%の方がこれからの治療やケアについて自分で決めたり、人に伝えたりすることができなくなると言われています。「エンディングノート」や「もしバナゲーム」などを通して、あなたの考えを整理し、大切な方達と話し合っておくと「もしもの時」の判断に役立ちます。

本人、家族、医療、介護スタッフ等と意思統一を

人生の最終段階で容態が急変した場合、どこまでの医療を希望するか等、ご家族やご友人、医療・介護のスタッフ等と繰り返し話し合い、共通の認識を持つておくことは大切です。自分自身が中心となり、家族や医療・ケアチームと繰り返し話し合うことを「人生会議」といいます。

話し合いの進め方

あなたが大切にしている事は何ですか

あなたが信頼できる人は誰ですか

信頼できる人や医療・ケアチームと話し合いましたか

話し合いの結果を大切な人に伝えて共有しましたか

心身の状況等に応じて意思や希望が変わることもあります
その都度、納得するまで繰り返し話し合いましょう



人生会議の実施日	誰と	内容
R 年 月 日		
R 年 月 日		

※このように人生会議の参加者や内容などを記録し、共有しておきましょう

Memo

増刷のエンディングノートに
人生会議啓発のページを追加

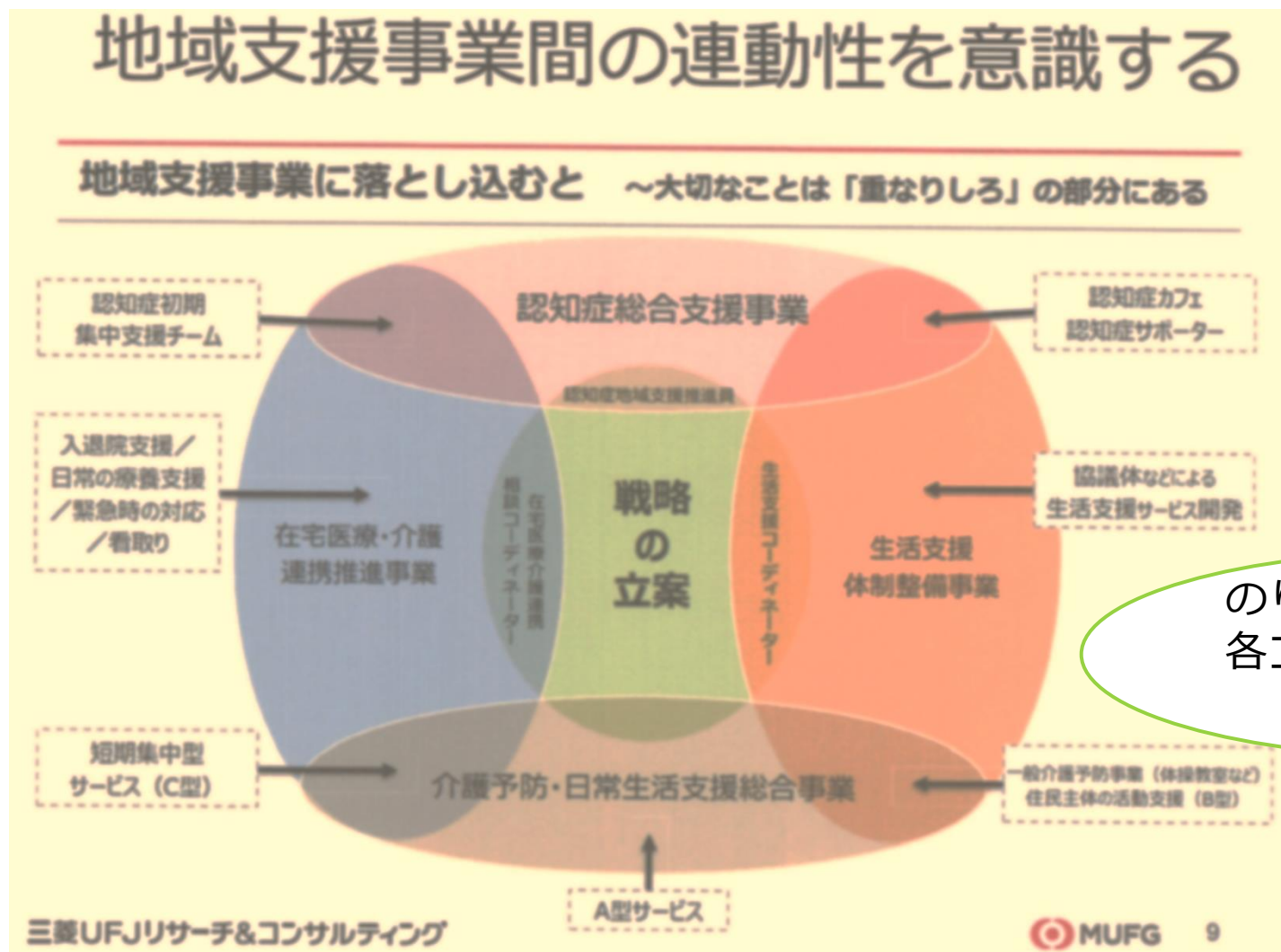
人生の最終段階で容態が急変した場合に希望する「医療やケア」

価値観や考え方を大切にして、私の思い（判断）を代弁してくれる人

(1) 氏名 続柄 () 連絡先

(2) 氏名 続柄 () 連絡先

その他 「我がまちの地域包括ケアを考える」研修会に参加



のりしろ部分について
各コーディネーターの
協働作業が必要

市町の地域の実情に応じた 地域包括ケアシステムのネットワーク充実



※令和2年2月5日（木）15市町から取り組み実践報告会に出席 次年度は評価指標について

長浜市第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

基本理念：みんなで支え合い、いきいきと暮らせる

あたたかな長寿福祉のまち

介護保険法の地域支援事業

●認知症地域支援推進員

(認知症になっても安心して暮らせるまち)

●生活支援コーディネーター

(自分のできる力を発揮し、慣れ親しんだ人々同士で支え合う仕組みづくり)

●在宅医療・介護連携支援コーディネーター

(自分の望むところで医療と介護が最期まで受けられるまちづくり)

私たちのめざす姿

人生の最期まで自分らしく支え支えられ、自分の望むところで
暮らすことができる長浜市民

長浜市の出前講座開始前に
3 コーディネーターの役割を
紹介します



～令和２年度事業 に向けて～（長浜市米原市からイク以外を受託）

ア

- 地域の医療・介護資源の把握➡昨年度同様にホームページを活用し新着情報を提供

イ

- 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討（行政）➡検討会議や包括的支援事業関係者との協議に参画・協力

ウ

- 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進➡医師会と共催し、看取り期における診療間の連携構築

エ

- 医療介護関係者の情報共有の支援➡湖北圏域ネットワーク協議会と共催し、ICTに関する研修会を開催

オ

- 在宅医療・介護連携に関する相談支援➡専門職の相談や地域包括支援センターと連携し、情報共有を図る

カ

- 医療・介護関係者の研修➡プライマリケア学会と共催し、定期的な研修会を開催する

キ

- 地域住民への普及啓発➡希望に応じて出前講座を開催・地域医療福祉フォーラムを開催（１回）・啓発グッズの作製

ク

- 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携（行政）➡支援センター事業定例会議に参画